



広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:00
11月 7日 進化する“紀州林業”
11月14日 知事と語る
11月21日 紀の国わかやま文化祭2021開催中!
11月28日 統合型リゾート(IR)の実現を目指して

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜 19:30

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最新線 火曜 15:40

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。



紀の国わかやま文化祭2021

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会

令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

**スタンプラリーを使って
文化祭を楽しもう!**

現在開催している紀の国わかやま文化祭2021の各イベントに参加いただくため、県が運営している「わかやま・まるごとスタンプラリー」にて、本文化祭のスタンプラリーページを公開中!

会期中のイベント参加数に応じて、抽選でプレミアム和歌山の豪華賞品をプレゼントします!

応募方法など詳しくは、以下のWEBサイトのQRコードからご確認ください。



問 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局
☎073-441-2570 FAX073-423-7120

紀の国文化祭

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



**東日本大震災及び
紀伊半島大水害から10年**

今年にあの3.11の東日本大震災の悲劇から10年の年でありました。また当県にとっては、同様に大変な被害を受けた9.04の紀伊半島大水害から10年の年でもあります。

御遺族や大きな被害にあわれた方々のこの10年間の悲しみや苦しみは、余人が想像することもできないほど大きなものであったと思います。それぞれの被災日を中心に、御遺族や地元の方々を中心に慰霊の催しがなされました。和歌山でも、地元の方々の催しとともに、9月5日に県全体でも被災10年を振り返る合同慰霊式を行おうとしていたのですが、コロナの感染状況を考慮して取り止め、私が各地の慰霊碑を回って、手を合わせてまいりました。我々は、ともすれば過去の悲劇の記憶を段々と失っていきがちであります。災害は忘れた頃にやってくると言われますが、過去の悲劇を忘れ、備えを疎かにし、災害が襲いかかってきた時、また同じような犠牲を出しては、あまりにも情けないと言わざるを得ません。

したがって、我々は、記憶を風化させないように、いつもあの震災や大水害を折にふれ思い出し、犠牲者や被害に思いをいたさなければなりません。しかし、特に我々行政にとっては、過去を忘れないことだけが大切なわけではありません。過去の思い出をバネに、備えを常に強くすることに努力し続けなければなりません。

この2つの悲劇をきっかけとして、今装備されている防災対策は格段と強化されています。あの悲劇の東北を見て学んだもの、大水害の最中にとっさに対応したことを、次は「常備軍」として整備しているもの、そしてICTの力を借りて格段に強力になったものなどたくさんあります。数えてみたら、何と23項目にもなっています。(県防災企画課のWEBサイトで是非ご確認ください。)

しかし、それも、我々行政から地元の住民一人一人まで、それを使いこなせなければ何にもなりません。我々も常に使いこなせるよう努力します。県民の皆さんにも理解、習熟していただけるようPRに努めます。訓練も必要です。そうして、皆で力をつけて次なる災害の時は、力を合わせてがんばりましょう。

和歌山県知事 **仁坂 吉伸**



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 **80**

・古紙パルプ配合率
※残りは、その他の持続可能性をめぐしたパルプを使用
・塗工量

70%以上
30g/ml以下

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。